

◎令和4年度 東大和市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

今年度で8回目となる東大和市社会福祉協議会主催の、「東大和市災害ボランティアセンター設置・運営訓練」が、本日ハミングホールにて実施されました。

センターは「東大和市地域防災計画」により、大規模災害の発生時、市と社協とが連携して、市民会館(ハミングホール)に設置することになっています。さらに社協は市と、「災害時におけるボランティア活動に関する協定」を締結し、「東大和市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」(最新版:R2. 11. 1)を作成して、センターの円滑な設置・運営、災害復興を目指しています。

令和3年度の訓練は新型コロナの感染状況の悪化により、大幅に参加者(9名で実施)及び開催時間を減らし、令和4年1月22日に実施されました。令和4年度の今回の訓練は、令和3年度の訓練と一連のものとして捉え、市民や学生の参加者も募り、2部構成の実施となりました。

【第1部(9:30~12:00)災害ボランティアセンター設置・運営訓練:参加者約40名】

(参考:シナリオ P6)

★集合、あいさつ、自己紹介(小ホール)



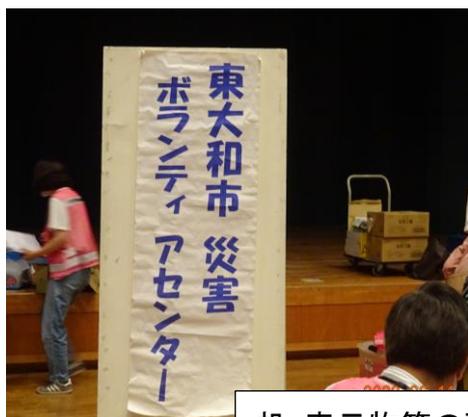
東大和市社会福祉協議会
事務局長様



東大和市災害ボランティアセンター協議会
会長様



★災害ボランティアセンター設置(小ホール)



机・表示物等の配置、総務班準備、シナリオの確認等。



★相談受付開始(事例4・5の相談は、会議室から)

被災者(事例4と5:障害の方)による、ボランティアセンターへの電話相談。



被災者支援班による、ボランティアセンターでの電話相談受付。

★訪問調査



被災者支援班による、被災者宅(事例4と5:障害の方)への訪問。被災者の検温実施、「ニーズ(現地調査)受付票」の作成。

★引継ぎ(小ホール)



被災者支援班から、ボランティア活動支援班へ訪問調査の引継ぎ。「ニーズ(現地調査)受付票」をもとに、「ボランティア募集票」の作成。

★ボランティア受付・マッチング



ボランティア受付開始
消毒・検温



記載台
「ボランティア受付票」に記入。
名札・ビブス・注意事項の配布。



マッチング(大ホールにて)
「ボランティア募集票」をもとに、
ボランティアが決定され、内容の説明。
送り出し。

★総評、アンケート配布・記入



総評
災害ボランティアセンター協議会
南街・桜が丘地域防災協議会 本部長様

【第2部(14:00～15:30)講演会(水害):参加者約60名】(参考:チラシ P7)

★受付(13:30より)



★ごあいさつ



東大和市社会福祉協議会
会長様



東大和市
市長様



司会
東大和市社会福祉協議会 様

★水害をテーマの講演(災害対応 NPO MFP 代表 松山文紀氏)



プロフィール①

- ・ 松山文紀 (50) 静岡市 (現葵区) 出身 生まれも育ちも静岡市
- ・ 静岡学園高等学校普通科卒 → 立命館大学法学部法学科に進学
- ・ 大学4年の1月17日、京都市内の下宿にて阪神大震災を経験 (京都市は震度5)
- ・ 震災1か月後の2/22神戸市灘区の民間ボランティア団体「神戸元気村」にて活動 → 大学留年をきっかけに、2年3か月の間、復旧・復興支援活動に携わる
- ・ 1997年6月に静岡に戻り、福祉施設にてボランティアを行いながら就職活動
- ・ 1998年4月より身体障害者療護施設勤務 (入居施設8年、デイサービス3年弱)
- ・ 2008年12月末 (リーマンショック、年越し派遣村があった年の年末) に退職
- ・ 2009年8月、特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会就職
- ・ 2009年10月1日、静岡市番町市民活動センター開所に伴い配属
- ・ 2011年3月末より、日本財団災害支援センターに出向
- ・ 2013年4月より、震災がつなぐ全国ネットワーク事務局として勤務
- ・ 2019年7月より、地元静岡に拠点を移し、災害対応NPO・MFPを設立し、現在に至る ※静岡市障害者基幹相談支援センターにて 相談支援専門員として従事

【資格】
 社会福祉士、運転免許全て、フォークリフト、車両系建設機械 (整地等・解体用)、不整地運搬車、高所作業車、小型移動式クレーン、伐木等の業務 (チェーンソー) など

アルバイトでは新聞配達、回転寿司システムキッチン施工補助農家の収穫手伝い飲食店の皿洗いなどいろいろ経験しました

手を着ける前に記録を残す

建物の4方向全てから屋内の被害の様子も必要と思われる3倍の枚数

できるだけ4方向から撮る

浸水した深さがわかるように

室内の状況や家電なども撮る

り災証明書の発行や保険・共済などの申請時に役に立つことがあります

出典: 震つな作成「水害があったときに」

このホールの近く、ヤバい!!

空堀川の周辺、ほとんど危ないじゃないですか

2022 06 11

★終了ごあいさつ

東京ボランティア市民活動センター 様



東大和市災害ボランティアセンター協議会 会長様

【災害ボランティアセンター設置・運営訓練 シナリオ】

全体の流れ		当日の流れ		被災者		総務班	
前日までの流れ	・フォーマット作成 ・動画の準備	ボランティア受付のフォーマットを作成し、自動返信で動画のURLが申込者に送付されるよう設定を行う。	メール送付	ボランティア役に受付のフォーマットをメールで送付する。			
5/19まで	ボランティア受付後	ボランティアのフォーマットに入力し、自動返信で送られてくるオリエンテーション動画を視聴する。	総務班				
5/20まで	ボランティア申込み	事前にマッチングを済ませておく。	名簿作成	入力データを元にボランティア名簿を作成し、訓練当日に受付に用意する。			
6/3まで	マッチング						
6/10まで							
当日の流れ	ハミングホール	・あいさつ・流れの確認・自己紹介	セツペン	・会場を設置。(各自椅子と机を設置する。)			
9:30	全員		電話相談	・ボラセンへ電話し、シナリオに従い相談を行う。(電話は社協が用意) ・住所等をスタッフへ伝え、訪問を受ける約束をする。			
9:45	災害VC設置	掲示物、物品、受付場所を設置。	相談	・スタッフの訪問を受け、具体的被害を伝える。			
10:00	相談受付	・電話で被災者からの相談受付、訪問先を地図等で確認。 ・3人1組に分かれ、各組2件の相談対応。 ※受付の初めに、相談者の体調の確認を行う。 ※訪問調査を短時間に手短けに行うため、電話で聞き取りのできる部分は聞き取りを行う。					
10:20	訪問調査	各組1ヶ所現地訪問し、調査する。 ※電話対応をしていないスタッフが主導となり対応する。 ※訪問先に上がる前に、手指のアルコール消毒をする。 ※訪問先に着いたら、相談者の体温を測る。					
10:35	ニーズ受付票作成	訪問終了後、「ニーズ受付票」を作成。	片付け	スタッフが帰宅したあと、会場を片付け、本部のある場所に戻る。			
10:55	引き継ぎ	・ボラ支援班へ、相談者の情報をニーズ受付票をもとに引き継ぐ。 ・ボラ支援班がボラ募集票等を作成している間、受付の設置を行う。	引き継ぎ	・被災者支援班よりニーズ受付票を引継ぎ、ボランティア募集票を作成する。 ・送り出しに必要な書類等を準備する。			
11:10	ボランティアとして活動	受付から送り出しまで一通り体験する。	ボランティア受入	・ボランティア役の受付をする。 ・担当を決め、送り出しをする。 ※受付時にボランティアは事前に動画視聴のため、一部割愛。			
11:45	全員		片付け				
12:00			終了				

 **水害**をテーマとした講演会を開催します！

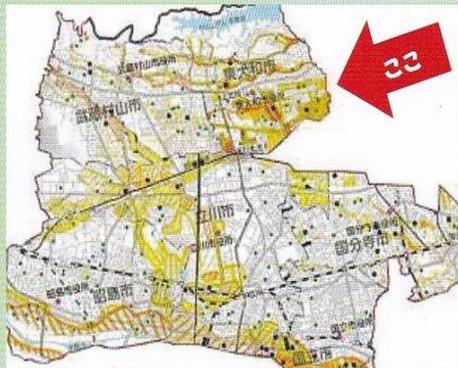
東大和市は近隣の市に比べて浸水予想範囲が
広範囲であることをご存知ですか！？
家が浸水すると、こんなことが起こります…。

- ⚠️ **濡れた畳は処分しかない!?**
- ⚠️ **トイレから排泄物の逆流!?**
- ⚠️ **床下は泥だらけ!?**
- ⚠️ **浸水した水は雑菌だらけ!?**

今回は、水害の被害にあった後に必要となる作業や
受けられる支援について、過去の水害現場で実際に
活動された方を講師としてお招きし、分かりやすく
お話してもらいます。

ぜひ参加して学んでみませんか！！

※図は、近隣市の
ハザードマップを
もとに浸水エリアに
色を塗り、貼り合わ
せたもの。
東大和市は右上。



日時:令和4年6月11日(土)14:00~15:30

※受付は 13:30 から

場所:東大和市民会館ハミングホール

無料

定員:50名(先着順)

**対象:市内在住の方。災害ボランティアや災害について
興味関心がある方。**

講師:災害対応 NPO MFP 代表 まつやまふみのり 松山文紀氏

※手話通訳あり

<問合せ・申込先> 締切:6/3(金)

東大和市社会福祉協議会

TEL:042-564-0035

申込フォームはこちらから⇒



主催:東大和市災害ボランティアセンター協議会

えっ!!
まさか我が家が…。
大雨で家が浸水。
その時あなたはどうしますか？